水道事業評価（令和7年度）

担当課　浄水課

1　事業情報

目指すべき方向性	安全	基本政策	1　安全・安心な水道水の確保	施　策	1-1　水源の保全と確保	事　業	1-1-1　県水受水の安定化

2　事業評価の概要

項目	内容
基本政策	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携しながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。
事業目的	埼玉県から購入する原水（県水）の安定的な受水を図るため、埼玉県との連携を強化します。
取組内容、数値目標及びスケジュール（単年度）	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績に基づき次年度の県水受水量を確保します。 ・事業1-1-2「自己水源の確保」と併せ、安定した水量を確保します。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても水量が確保できるように、埼玉県との連携強化を図ります。
期間	令和7年4月　～　令和8年3月

予算額決算額		予算額			決算額			執行率
	単位：千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位：%
	事業費計	3,823,114	3,823,114	0	3,789,911	3,789,911	0	99%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	3,823,114	3,823,114		3,789,911	3,789,911		99%
	人件費	4,050			4,050			100%

3　中間評価（事業の進捗状況）

執行状況	上半期執行額	1,868,425千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	49%		
進捗状況	・給水人口と一人一日平均給水量の実績から令和7年度～令和9年度の県水受水量を予測し、その値を県へ報告しました。 ・天候の変化などによる日々の水需要の変化に対しては、自己水源を活用し、安定した給水量を確保しました。 ・埼玉県担当者と情報の共有を図り、連絡体制を維持し安全安心な水道水の確保を継続しています。			

4　終了時評価（事業の達成状況）

達成状況	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績を基に必要量を予測し、次年度の県水受水量を確保しました。 ・天候の変化などによる日々の水需要の変化に対しては自己水源を活用し、安定した給水量を確保しました。 ・埼玉県の県水停止等に対しても埼玉県と連絡を取り、濁り水を発生させずに市内配水を行うことが出来ました。

5　水道事業ガイドライン業務指標（PI）・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標（PI）・独自指標					R7	R8	R9	R10
指標名	【PI　B115】給水制限日数	単位	日	目標値	0			
算出式・根拠	（年間給水制限日数）			実績値	0			
指標名	受水予測精度	単位	%	目標値	99.9			
算出式・根拠	（承認受水量に対する精度）			実績値	99.8			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠				実績値				

6　視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	B	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善（創意工夫）	B	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B

評価理由（特記事項）	総合評価
・過去の実績を基に出来る限り現状に即した必要量を予測し、次年度の県水受水量を求め県に申請し必要量を確保しました。 ・1年を通して水需要の変化に対応し、自己水源も活用して安定した給水量を確保しました。 ・埼玉県の県水停止等に対しても埼玉県と連絡を取り、濁り水を発生させずに市内配水を行うことが出来ました。	B

7　今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
・水需要の動向に合わせ県水受水量の配分を決定し、効率的な水運用を行うよう努めます。 ・承認水量の範囲で自己水源を活用し、県水受水目標である99.9%運用になるよう努めます。	現状維持で継続